

施策評価シート(平成27年度評価実施)	担当部課名	総務部 安全安心課	関連部課名	
基本目標	安全で快適な魅力あるまちづくり【都市基盤・安全】			
施策名	防犯			
<p>犯罪の発生しない安全なまちを目指して、防犯教室や防犯のための情報提供の強化、防犯に配慮した道路や公園等の整備・管理、市民・事業者や地域の自主的活動による犯罪の起こりにくい環境づくりなどの取組を推進します。</p>				
<p>施策が目指す蒲郡市の将来の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●犯罪が少ない誰もが安心して暮らせる安全なまちとなっています。</li> <li>●住民同士の信頼に基づく地域活動で安心して暮らせる地域社会となっています。</li> </ul>				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 防犯意識の向上

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
防犯教室の開催	27回	19回	30回
不審者犯罪情報配信件数(年度末)	7, 279件	4, 707件	6, 000件

2 犯罪の起きない生活環境づくり

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
防犯灯数	5, 945灯	6, 006灯	6, 056灯

3 地域との連携による犯罪の防止

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
防犯パトロール	60日	60日	60日

◆評価指標

指標名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	将来目標
刑法犯犯罪率	目標値	10.0	9.0	8.5	7.0
	実績値	9.34	9.05		平成33年度
メール配信登録者率	目標値	8.0%	8.0%	7.3	10.0%
	実績値	8.80%	5.70%		平成33年度
	目標値				
	実績値				平成33年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
刑法犯犯罪率	人口1,000人あたりの刑法犯認知件数(年間犯罪件数÷国勢調査人口×1000)
メール配信率	犯罪情報配信件数÷国勢調査人口×100

◆指標の分析

年々、刑法犯罪率は減少傾向にあり、市民の防犯に対する関心の高まりがみられる。また、犯罪情報をメール配信することにより、情報が共有化され、防犯意識の高揚につながる。

◆今後の方針

既存の蛍光灯防犯灯は、老朽化しているため順次LED灯への取替えを進めるが、防犯灯の新規設置とバランスよく行う必要がある。  
防犯カメラについては、犯罪抑止に有効である。現在、一部の公共施設及び4つのJR駅駐輪場に設置し、平成26年度には西浦地区内2か所に街頭防犯カメラを設置した。今後は、総代区など公共的団体に対する防犯カメラ設置補助制度の創設など、防犯カメラ設置の促進を図る必要がある。

今後の施策展開  
老朽化した防犯灯のLED化を推進する。  
公共的団体の防犯カメラ設置に対する補助制度を創設する。  
自主防犯団体の活性化など、地域における防犯活動を推進する。

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	防犯灯、防犯カメラ設置等のハード対策については、限られた財源の中で効果的な展開をしていく必要がある。また、ソフト対策事業については、警察と連携した啓発及び地域の防犯活動の活性化を通じて、犯罪抑止につなげていく。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	刑法犯認知件数は前年度より減少している。 また、防犯カメラ設置補助制度は、順調に進み、今年の10月から施行することが出来た。 防犯灯については、順次申し出のあった箇所からLED化を行っている。 自主防犯団体については、市全域の防犯団体を取りまとめる上部団体を設立し、防犯活動の推進を図っていく。